

# 🌱 イチョウの苗木の育て方 🌱

## ● イチョウの大きさ、植樹に適した場所とは

苗木の到着から植樹までは日当たりの良い場所で苗木を管理していただくことをおすすめします。  
将来的に木が大きく成長することを考えて、周囲に5メートル以上のスペースがある場所に植樹されることをおすすめします。落葉高木で樹高10~30m、直幹性で円錐形の樹形となります。  
植樹する場所は日当たりが良く、排水性のよい場所を選んでください。

## ● 植樹の方法

直径75cm、深さ50cm程度の穴を掘り、周囲の土と堆肥(腐葉土)、有機質肥料を混ぜ込みます。  
苗木は元の地面より低く埋まることがないように注意して植え付けます。  
十分に水を注ぎ、支柱を立てて、幹を痛めることがないように幹あてをし、シュロ縄で結んでください。3月ごろが定植の適期ですが、10月~2月の落葉時期であれば可能です。

1㎡当たりの必要量の目安

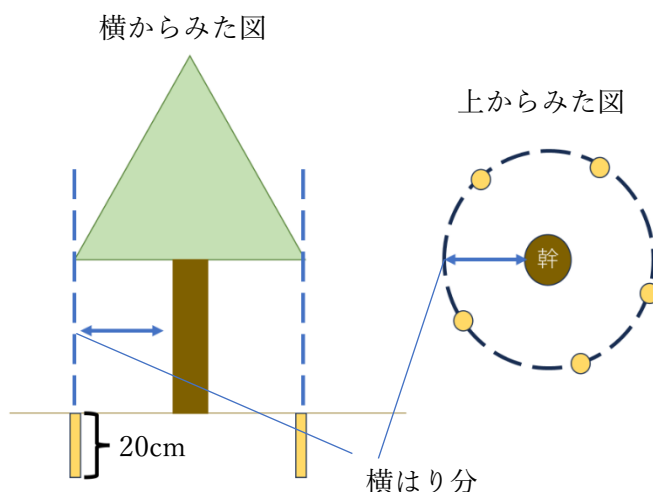
有機質肥料 0.3kg

堆肥 3kg

## ● 施肥や水やりについて

植え付けて2年目以降、肥料は、12~2月の間に1回、離れた場所に3~5カ所、深さ20cmの穴を掘り寒肥(1つの穴あたり発酵油粕大粒3~5粒)を施してください(右図)。

水やりは基本的に不要ですが、長く雨が降らない時は水不足になりやすいのでご注意ください。



## ● 苗木を守るために

人間や動物に間違えて踏みつぶされないように、苗木に囲いを設けることをおすすめします。  
病害虫などが発生した場合は、早期に適用のある薬剤を散布してください。  
降雪量の多い寒冷地では雪で苗木が折れないように雪囲いが必要です。

(作成協力：広島市植物公園)

